

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年 10月 10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470103270		
法人名	株式会社 ひょうま		
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ・牛田新町		
所在地	〒732-0068 広島県広島市東区牛田新町三丁目14番25号 (電話) ①082-511-3281 ②082-209-3528		
自己評価作成日	令和元年9月13日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3470103270-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和元年10月3日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ひなたぼっこの理念にもあるように「尊厳を保つこと」を大切にし、特に入居者と接する際の言動に敬意を払い、誠実さ、丁寧な介護を心掛けている。一人ひとりの思いを大切にし、本人、ご家族の要望に出来る限り添えるように支援している。また、入居者の可能性、力の発揮が出来るようホームでの役割りや生きがいを持って生活出来るよう支援している。家庭生活のような安心感の中生活できるホームを運営するよう心がけている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

住宅やスーパー、商店が立ち並ぶ平地に2ユニットを有し、散歩や買い物外出の支援など、地域の特長を日々のケアに活かしている事業所である。毎日の食事においては、買い物から調理、片付けなど全て利用者と共にやり、利用者は味付けや机拭きなど持てる力を発揮している。職員は自然な関わりのなかで「個々の尊重」を実践しており、共有空間は会話や笑い声が聞こえてくる家庭的な雰囲気となっている。また、利用者や家族の要望を把握する際、苦手な事、したくない事、して欲しくない事も大切に聴き、職員は代替の支援に関しても話し合っており、丁寧なケアに取り組んでいる。法人は、次代を見据えた新たなスローガンを掲げ、「ぬくもりで繋がるみんなの家」を目指し、職員はこれまで積み上げてきた基盤に、更なる地域とのつながりに取り組もうとしている。

自己評価	外部評価	項目(牛田新町①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	ひなたぼっこの基本理念を、職員全員がいつでも見られるところへ提示し、理念に沿ったケアを心掛けている。	事業所理念は見えやすい個所に掲示し、法人の新たなスローガンの下「その人らしく」「尊厳を保つ」などの意識を高めて、日々の業務を開始している。特に「役割をもつことで生きがいを感じて頂く」に関する具体的な支援について、職員間で日頃から話し合っており実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域のお祭やイベントなどに参加し交流する機会を設けているがまだまだ少ない。地域で行われているいきいきサロンや認知症カフェへの参加ができるようにしていく。	地域行事は回覧板や民生委員からの誘いで情報を得ており、秋祭りや神楽観賞に参加している。二胡演奏の地域ボランティアや子供達の訪問があり、また、柿や物品の差し入れなど地域と自然な交流が行われており、今後は更に、地域の方の集いの場になるよう地域との交流に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現在、地域で行われているケアネット等になかなか参加出来ないのが現状である。今後、認知症カフェ等参加し、認知症の理解や支援等、具体的な取り組みを発信していこうと考えている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回運営推進委員会を開いているが、入居者の家族の参加がなかなか難しい状況が続いている。おたよりに開催日を載せているがまだ出席には至っておらず、直接参加いただけるよう声掛けを行い日程や時間帯もその都度変更できるよう柔軟な対応を検討している。	2か月に1回行い、ホームの状況や行事などを出席者に伝え、民生委員や包括支援センターからの情報や助言もあり、事業所からの提案なども伝えている。毎回、利用者の出席があり自由に発言できるような和やかな雰囲気作りを努めている。	出席者が意見を出しやすい状況で双方向の話し合いを行い、ケアに反映した内容などの積み重ねを記録に残し、出席者以外の関係者も共有できる方法の検討を望む。また運営推進会議の意義の理解を更に深められ、共に支え合う家族が、出席しやすい内容になるよう工夫を期待する。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町担当者と日頃から連絡を密にする事は出来ていないが、必ず運営推進会議の1ヶ月前に参加をしていただくように伝えたり、会議のあとは報告等行なっている。	事業所として地域で出来る事を、地域包括支援センターに相談したり、福祉制度を円滑に利用できるよう市町担当者と連携を取り合うなど、日頃から良い関係性を築いている。	

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束適正化委員会を立ち上げその中で学習、検討など行っている。内部研修や外部研修で学ぶ機会を持ち、職員会議やカンファレンス、申し送りなどでケアについて協議を行い職員一人一人の意識を高めている。</p>	<p>身体拘束の具体的な行為に関して、職員は内部外部の研修にて理解している。新人研修では、グレイゾーン（センサーや鈴音）の例もあげ、工夫や見守り重視のケアに関して周知している。安全の為、玄関外は施錠し、中から職員と共に自由に出入りをしており、抑圧的な会話を含め、拘束は行われていない。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>内部研修や外部研修で学ぶ機会を持ち、職員会議やカンファレンス、申し送りなどでケアについて協議を行い職員一人一人の意識を高めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>後見人制度、権利擁護に関する制度については、内部研修や職員会議などで学ぶ機会を作っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>不安や疑問点を聞き、ひとつひとつ丁寧な説明を行い、理解・納得していただけるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族が面会等に来られた際に、意見・要望等を聞くよう職員に統一している。また、面会などが少ないご家族には、電話で連絡を取り状況報告を行なっている。</p>	<p>面会時は、壁面に掲示しているイベントの写真を通じて、気軽に話して頂き、個別の要望や意見を聴き、介護計画書に反映させている。年1回行われる法人の家族アンケート結果も加味し、事業所運営に活かすように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議や個別面談、ミーティング等意見や提案を聞く機会を設け、利用者様のサービス向上に努めている。</p>	<p>管理者は、面談やミーティング時だけでなく、日頃から職員の意見や提案が出やすい雰囲気にも努め、業務改善に繋げている。反映された例として、シフトによる業務内容の変更・入浴の組み直し・くすり表作成などがある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>面談にて職員の意見を聞く機会を設けている。職員の資格取得を支援している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>なるべく誰もが外部研修に参加できる勤務体制を整えるよう考慮している。また、毎月の職員会議の機会に伝達講習を行う事で全体のスキルアップを図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>他ホーム職員との交流や意見交換ができるよう内部研修の際に意見交換の場を設けている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に本人・ご家族と面談を行い、本人が困っていること、不安なこと、要望等を聴きながら、安心を確保する為の関係づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族の困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、密な関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	初期対応の際は、本人、家族の思いをしっかりと聞き、その時の状態、状況に添ったサービスを提供するように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家庭的な雰囲気大切に、職員、入居者の方々が共に必要としている存在であることを伝え、本人が落ち着ける空間作り、環境作りを整え、コミュニケーションをしっかりと図り、信頼関係を築くようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	常にご家族と職員が情報交換し、一緒に支えていく関係を築いている。また、面会等あまり来れない家族については電話、手紙等で本人の状態・状況を報告している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族と連携し、入居者の知人、親戚の方などの来訪などしていただける環境を整えている。面会時間も特に定めず、いつでも訪問できるようにしている。	事業所は、利便性の良い場所にあり面会時間の制約も少なく、知人や家族の面会が多く行われている。職員は和やかな雰囲気配慮し、今までの関係性を大切にしている。馴染みのカラオケ店、書店などの個別外出支援も行っている。事業所への飲料水の配達員などの、新たな馴染みの関係性づくりも行われている。	

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	入居者がお互いのできるレクリエーションを考え、工夫し、日々楽しめるよう提供している。また、入居者同士が互いに協力し合える環境を作り支援に努めている。難しい様子が見受けられるときには職員が間へ入り入居者間の橋渡しを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後もご家族から本人の現状の経過の電話があったり、馴染みの職員が機会を作って訪問に行っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話の中で、本人の希望や訴えをしっかりと聞き、その人らしい暮らしが出来るよう職員会議やカンファレンスを開き検討している。	日々の関わりや家族から、本人の気持ちや要望を聴き、また言動から察した事を、個人記録にて共有している。職員は、本人の好みや苦手な分野を把握し日頃のケアに繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活状況や生活歴を家族の協力のもとに、フェイスシートを作成し、それをもとに状態、状況を把握した上で、ケアを提供するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	申し送りノートや生活個別記録に日々変化のあることを記入し、又、申し送りや職員会議などで情報を共有し現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	入居者の意向を聞きながら現状で出来る事を考え、カンファレンスで職員の意見を聞き、それと共に家族へ相談、意見を聞いている。でき上がったものについて、家族に説明し理解を得ている。入居者の希望などは、日々の会話の中から聞き取るようにしている。ニーズの表出が難しい方についてはひもときシートを利用しケアプランを作成している。	介護計画者は本人、家族の意向を把握し職員からの情報を含めてアセスメントし、時にはひもときシートを用いて課題をあげている。医療情報も加味し、出来る事を大切にしており、個別性のある具体的な支援内容となっている。定期的・変化時にモニタリングを行い状況に即した計画作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子やケアについては個別記録に記入し、また伝達ノート、申し送り等で情報を共有し実践に活かし行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人やご家族の状況に応じて、通院支援や外出希望など、ニーズにこたえられるように対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の行事などに参加し、交流を持つことで、楽しみを持てるよう支援を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	週1回の往診、月2回の訪問看護師の訪問があるが、それ以外に希望の病院などの希望がある場合は、本人、医師、家族、ケアスタッフと協議し対応している。また、他の医療関係者とも連携を図り、情報提供など行っている。	入居時に本人や家族の意向で主治医を決めている。定期往診や夜間における変化時の対応や連携がとり易い協力医である隣接病院を主治医としている。薬局薬剤師により薬のセットが行われ、他科受診時は職員が同行して医療情報をケアに繋げており、平素から適切な医療を受けられるよう支援がなされている。	

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	月2回の訪問看護を受けている。その際に個々の入居者の状態、状況を報告し、健康チェックや相談など行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はその都度病院スタッフの方と治療中の病状や様子を聞き、また、退院になった場合、医師と注意点など細かく相談するようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化については、入居前面談時にホームでの生活における限界について、家族様に説明し理解していただいている。終末期についてもホームで対応出来る事、出来無い事をしっかりと説明し納得いただいた上で看取りを実施している。	入居時だけではなく、必要時、改めて本人家族の意向を聴き事業所で出来る事を伝えている。本人家族の要望により、24時間主治医と連携し最期までチームで寄り添うケアも可能であることを伝え、看取りの例もある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変・事故発生マニュアルを用いて、職員全員に周知徹底しているが、外部研修に参加し定期的に再学習の機会を持つようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に2回の消防訓練を行い、その中の1回は地域の方にも参加して頂き、消防職員の方にアドバイスをさせていただきながら行っている。今年度は夜間帯想定避難訓練も実施しており、出来る範囲内で複数回実施する予定。	自然災害、火事などの災害時の対応に関して年2回の訓練を実施し、消防署の助言により避難方法・避難経路・防火扉の扱いなどに関して、職員は周知している。事業所は災害時の一避難場所となっており、訓練時は地域の方も参加されており協力体制を築くよう努めている。	

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者一人ひとりの人格を尊重した声掛けや対応ができるよう心掛けている。	人格の尊重に関する研修は、繰り返し行い、日々の関わりの中で実践に努めている。本人が選択することを大切にしており、選択肢を伝える等の工夫をしている。人格やプライバシーを損なわない対応（とっさの場合も含めて）について、職員間で話し合い、配慮がなされている	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者との関わりの中で、希望や思いを気軽に言えるように努め、できるだけ希望に添えるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の生きがいや、やりがいを見つけ出しその方のペースに合わせ穏やかな生活ができるように心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	自分の意思で衣類などを選ばれる入居者についてはその意思を最大限尊重している。選ぶことが困難な入居には本人と職員と一緒に選び支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事作りを共に行う事で食事に対しての楽しさを提供している。また、日々の食事準備、片付けなどを一緒に行っている。食事作り等が困難な方には味見をしていただいたり本人に出来る事を見つけ行っている。	食材の買い物、献立、調理、盛り付け、片付けなど全ての過程を利用者と共に行っている。利用者は、出来る事や望む事を自然な流れの中で参加している。カボチャの味付けや魚の骨に注意しながら食べる事を得意とする等、「食」を楽しみ、ラーメン・お好み焼きなどの外食の機会も多く、多面的に支援されている。	

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事摂取については、個別表に食事摂取量を記入し、栄養バランスについては、献立表に記入している。食事について、食べにくいものは切るなどし硬いものは柔らかい食べ物で提供するなど工夫をしている。水分摂取についても、食事時、おやつ時、入浴後など十分に摂っていただくように声掛けしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎週水曜日に、歯科往診があり、口腔状態の確認を行い、歯科医、歯科衛生士からの指導等行っている。また、食後には、より良い口腔ケアになるようにひとりひとり状態に合わせた口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレに行くことを基本とし、その入居者にあった時間や声掛け、誘導を行いながら、自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>職員は、個々に異なる排泄パターンやサイン、気持ちの状態などを把握し、穏やかに声かけやトイレ誘導を行っている。トイレ便座の壁側と正面に、はね上げ式の手すりが設置されており、また、リハビリパンツ使用時のパットが入居後、不要となった例が複数件あり、アセスメント後に自立に向けた支援がなされている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事に食物繊維の多い野菜を提供すると共にバランスの摂れた食事を提供している。また、散歩や軽い体操などを行ない、便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者の状態に合わせて、週3回の入浴を実施している。本人のペースで、リラックスできる入浴を目的として行なっている。また、体調をくずし入浴できない場合は入浴日の変更を行い、それも難しい場合には清拭をし清潔保持に努めている。</p>	<p>原則、浴槽に浸かりリラックスできる入浴を行っているが、体調や気分が良くない時は、日にちや時間を柔軟に変更している。職員は、入浴を笑顔で楽しめるタイミングを大切にしている。</p>	

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就眠時間など一人ひとり合わせ対応し、本人のペースで安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の説明書を保管し、職員が薬の情報についていつでも見られるようにしている。また誤薬がない様に、服薬の前に職員が二重の確認をし、服薬介助している。常備薬でない薬は職員が使用日・終了日を個別記録へ記入し確認できるようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>入居者の個々のレベルに合わせ、得意な事、できることを支援し、感謝の気持ちを伝えていく。又、そのことが困難であっても、本人が懸命にしていることは、見守り支援している。気分転換に近所へ散歩に出掛けたり、買物に出かけるなど行っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日常的に近隣に散歩に出掛けたり買物に行くなど外出の機会を多くしている。又、本人の希望に添える様普段の会話の中で聞きだし、個人レクなどで対応している。</p>	<p>買い物・ドライブ・散歩など利用者の希望にそって職員との外出機会が多く好評である。洋服店・魚店・カラオケ店・ラーメン店など個別レクとしての外出支援も行われている。遠方の公園に桜やツツジを観に行くなど、楽しみと変化のある外出を支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お金の自己管理は、ご自分で管理することが困難な方が多くトラブルになりやすいため、基本的にはご家族了承の元、ホーム立替にて購入していただいている。お金の本人所持はお金を持っていないと落ち着かない方など、家族の同意を得た一部の入居者のみ対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町①)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話をかける際はまず職員がご家族と話をし、それから本人に代わって対応している。手紙は書いたものを預かり職員が宛名を書いて送るよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>照明は全てLEDを設置しており居室、廊下、リビング等明るくしている。また、月の行事の写真を生リビング等に貼るなどし、入居者と一緒に楽しんだり、毎月の季節に応じた壁画や折り紙で作成するなどし、できあがったものをリビングや廊下に貼りつけて飾っている。</p>	<p>日中は、テレビ・談笑・季節の作品づくりなどを行いながら、リビングで自由に過ごしている。向きが異なるゆったりとしたソファや丸テーブルなど居場所の工夫がなされている。台所の低床カウンターは利用者と職員が共に調理する場となっており、時には家族も交じり明るく清潔で家庭的な共有空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングや廊下、玄関前などにイスやソファを設置し、自由に入居者が気軽に過ごせる空間づくりをしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>親しみあるものをご家族に持ってきていただいたり、いままでに使用していた物などを使用するなどし、本人が居心地良く過ごせる様工夫している。</p>	<p>今まで大切にしてきたタンス・マッサージチェアなど持ち込まれ、その人らしく過ごせる場となっている。居室入口には法人木工部製作の表札や引き出し付きの木製畳ベットの設置されており、家庭的で居心地の良い居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>居室の出入り口には表札をかけ本人様に分かるようにしている。リビングやトイレ、お風呂などにも分かりやすく目に見て判断できるようにしている。出来る限り入居者の方々の残存機能を生かすことが出来るよう職員で検討し自立した生活が送れるよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目(牛田新町①) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(牛田新町②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ホーム内に理念を掲示し常に意識して理念に沿ったケアが出来るよう心掛けている。また、具体的な内容を話し合い共有している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	民生委員の方に声をかけていただき、地域のお祭りや行事に参加させてもらっている。また、地域包括センターの職員と運営推進会議での情報交換を行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域においてはまだまだだと思ふ。今後、地域包括センターと連携をとりながら関係作りなどの強化に向けて働きかけを行っていきたい。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議では、日々の生活や行事等の取り組み、ヒヤリ・ハット報告等を行っている。民生委員、家族、地域包括センターの方々から意見を聞き、今現在の実施状況を見直し改善する事でサービスの向上に活かしている。また、利用者も参加し自由に発言できるように努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の案内を行い会議録を送付し連携を図っている。運営推進会議などで地域包括センターとの連携を深め、情報の収集と相談などを行うようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	常に言葉の拘束に注意しながらケアに取り組んでいる。言葉や薬での拘束にもつながらないよう職員会議や日々の申し送り、カンファレンスで、職員1人1人が行っているケアについて振り返り自覚していない身体拘束が行われていないか確認している。また、3か月に一度の拘束委員会の実施と情報発信を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員会議や申し送り、カンファレンスでケアについて協議し意識統一に心がけている。身体的な暴行につながる言動、言葉の暴力につながらないよう職員間でお互いに注意合いあえるよう心掛けている。また虐待の種類や虐待が行なわれる背景について勉強会を行い、虐待の防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活支援事業や成年後見制度の違いについて職員1人1人に資料を使い説明している。また、カンファレンス、職員会議で勉強会を行っている。入居者の中にも成年後見制度の利用をされている方もおり、必要に応じて活用できている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時は、契約書、重要事項説明書の内容説明を行い同意を得ている。入居後も家族と連携を図り、不安、疑問点があれば説明を行い、理解が得られるように対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日ごろからご入居者、家族様と関わりを増やすことで気軽に話しかけて頂けるよう心掛けている。月に一度ホーム便りを送付したり、家族アンケートをとったりし、そこで出た意見を取り入れるようにしている。また定期的に電話にて連絡を取るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(牛田新町②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	個別面談、職員会議、日々の申し送りで意見を聞く場を設け業務改善として反映させている。又、外部での研修にも力をいれておりバックアップ体制も行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人の努力、スキルアップを把握できるよう面談、自己評価を行っている。また職員の資格修得を支援している。勤務表も職員の希望休を取り入れたり、残業もない事で職員が安心して働ける環境作りに努めている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の育成段階に応じた指導や係りの役割当てを行っている。その他その段階に応じた研修の参加機会を設けている。二か月に一度行われる内部研修に参加できるようにしている。また定期的に職員会議でも勉強会を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所との交流や意見交換、勉強会などに参加できるよう勤務体制のうえで配慮している。また、他事業所に出向き、状況報告や空き情報等の報告を行い交流が図れるようにしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前にご本人と面接を行い、不安や困っていることなどを聞き、入居を決める前に体験入居を行い不安を軽減できる環境を整えている。入居初期は細やかな観察と声かけを行い安心感が得られるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	相談から入居まで、家族様と話す機会を多く持ち、困っていること、求めていることを事前に聞き、準備してからの利用となる。また入居後もホーム内での様子を定期的に報告する事で信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	初期の段階では、出来る限り情報収集に努めアセスメントを行い、必要とされるサービスに優先順位をつけ暫定介護サービス計画書の同意のもとで行っている。また、本人様の小さな訴えや要望にも、しっかり耳を傾け必要なサービスを検討するようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	その日の状態や気持ちに寄り添い、片付け、洗濯、配膳等一緒に行うことで共に出来ることを行っている。共に生活していくことで日頃の会話から人生の先輩として学ぶ事はたくさんあり、共に支え合う関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会に来られた際に日々の生活の様子をわかりやすくする為に、ホーム内に写真を掲示しご家族に伝わりやすくすることで報告した時に色々な思いを共有できる関係作りに努めている。本人の状況を家族に伝えることで情報交換を行い共に支え合える関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	外出では本人の好きだった場所や馴染みの場所に出かけられるよう支援に努めている。また、家族との外出や親戚、知人の方等の来訪もあり、面会時間を定めず行っている。入居者が電話をかけた手紙を書く事を積極的に支援している。		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	一人一人が孤独にならないよう、職員も間に入り、食事、レクリエーション等の場を活用し関わりが持てるようにしている。また調理の下ごしらえや洗濯物たたみなど複数で一緒に行い、共に支え合えるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も気軽に来ていただけるような雰囲気作りを行い、家族から現状の経過や電話等がありホームを離れても関係作りは大切にしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の日常生活の中での言動を観察し、本人の得意、苦手な分野を把握することで本人の思いに添った過ごしやす環境作りを支援している。また、家族の方とも相談しながら本人本位になるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	基本情報や、本人からは生活歴などを日常会話から聞き出し、家族に対しても必要に応じて生活歴を聞くようにしている。また、ケアマネの方とも連携と図り情報を共有できるよう努めている。職員同士でも情報交換し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	入居者個々で役割を決め、力を発揮する場を作っている。一人一人の1日の過ごし方を自分らしくして頂く為に随時声かけを行っている。それぞれの入居者の一日の流れを分かりやすく日誌に記録し、常に現状を把握できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人の要望も取り入れながら、ご家族に意見を求め、職員会議での職員の意見を反映し、日頃の日誌、ケアチェック表、定期的なモニタリングを行い、現状に必要なサービス計画が作成できるようにしている。また主治医とも連携し最適なケアプランを作成することに努めている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の日誌で情報を共有し、介護計画の見直しに活かしている。日誌では、入居者に変化があった場合は、精神面、身体状況、ケアの実践状況等細かく記録している。特記事項としては申し送り事項を設けている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>ユニット内だけでなく両ユニット間で交流を行い生活されている。行事の催しや企画があれば一緒に取り組み参加するなど柔軟な対応を行っている。希望があれば本人様の行きたい場所に行けるような時間を設け柔軟な対応をとっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>近所のスーパーに買い物に行ったり、近所の飲食店で昼食をとったりしている。その他、地域の行事等へ参加し地域と繋がりを持ちながら生活を楽しくするよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ホーム隣に協力医療機関があり、入居時に、今までのかかりつけ医を継続するか、移行するのか選択してもらっている。また協力医以外での受診についても、協力医、家族と連携を図り対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	月2回の訪問看護を受けている。訪問時に個々の入居者の状態、状況の報告をし情報提供している。健康チェックや相談、助言、指導を受け、状態により主治医への報告や指示を受けるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院後にフェースシートにて情報提供を行っている。入院した後は早期退院出来るよう、必要時病院の地域連携室、家族と連絡を取り状態確認を行っている。本人、家族の想い、施設の状況を報告し連携をとっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居時に重度化や終末期の方針について書面にて確認をうけ共有している。家族、主治医と連携をとり、状態を説明し話し合っ決めていく。出来る限り家族様、入居者様の望む形での支援が行えるよう取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変・事故発生マニュアルを用いて職員全員に周知徹底している。実践を取り入れた救命講習等、緊急時の対応について勉強会を行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年に2回、そのうち1回は消防署指導の下で避難訓練を行っている。避難訓練には地域の方にも協力いただいている。また、地域の方の災害時の一時避難場所となっており非常時の食糧も用意している。		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	本人の性格を尊重し思いや訴えに対して傾聴している。その方の言葉をきちんと受け入れ、否定はしないように心掛け、ゆっくり優しい口調で話すようにも心がけている。態度や言葉使い等でもプライバシーを損ねないよう意識の共有を図っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人が決定できるような選択肢のある言葉かけを行うよう努めている。会話の中から、または表情からも希望などを読みとるよう努めている。本人の希望を言いやすいような声かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	常に優先順位を考え業務に取り組み入居者のペースを乱さないよう努めている。散歩、外出、普段の生活の中でマンツーマンで話せる環境を作っている。また、本人の希望があれば可能な限り実施している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	外出や行事の時はいつもと違った服を選んでいる。また定期的に理美容サービスがありお化粧をすることで、その人らしくいれるよう支援している。理美容サービスの際は本人の希望をカタログで見髪型を決めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	個々に合った内容の食事準備、盛り付け、片付けを職員と一緒にしている。入居者の意見や希望に応じ外食も行っている、食材と一緒に買いに行き、季節感のある食事を心がけている。		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	その方の体調や状態に合った食事量、食事形態で提供している。食事摂取量の記録は全員行っている。水分量の少ない方は申し送りで伝達し情報共有している。食べにくいものは切ったり、固い物が苦手な方は、柔らかい食品を提供できるよう支援している。食事量の少ない方にはメイバランス等の提供も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行い、記録の中でも口腔ケアの記録を記入している。毎週、歯科往診に来てもらい、治療や口腔ケアを行い清潔保持に努めている。また、介助や見守り・声かけ等それぞれの出来る力に合わせた口腔ケアを実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を活用し、排泄の時間帯を把握し、入居者のサインを見逃さないようトイレ誘導を行っている。全ての入居者がきちんとトイレで排泄できるように支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	食事に乳製品、野菜、食物繊維の多い物を取り入れ工夫している。毎朝、体操を行い自然な排便があるよう支援している。排便困難3日目、4日目には個々の状態に合った下剤を服用する事で便秘の予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	曜日や時間は決めているが、入居者様の希望や体調に合わせて対応している。また入浴剤や浴室らしさを出し、入浴が楽しめるようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	個々の居室へ自由に帰っていただき 休息している。居室も安心して休 んで頂けるよう、寝具等馴染みの 物を配置し気を配っている。日中 、体操やレクを通して身体を動か し、洗濯たたみ、食事の用意など 役割を持ってもらい夜間良眠出来 るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている。	入居者1人1人にファイルを作り、 常に最新の処方薬情報をつずっ ている。職員は、薬の目的や副作 用、用法、用量を理解したうえで の服薬介助を行うように努めてい る。精神薬を服用されている方 には些細な変化を見逃さず記録 に残すように心がけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴 や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をし ている。	個々で役割を持っていただき生活 リハとして行っている。習字や壁 紙の作品の作品をリビングに展 示したり、観葉植物の好きな方 には水やりをしてももらったり、 料理好きの方には食事を作って もらったりと、それぞれの良さを 活かせる場面作りに努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。	天気の良い日は外気浴やホーム周 辺を職員と一緒に散歩している。 近くのスーパーや洋服屋、コン ビニにも希望があれば一緒に出 かけている。また、地域のお祭り や行事に参加したりしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を 所持したり使えるように支援し ている。	基本は立替という形で本人様の 欲しい物を購入しているが、自分 で所持したい方は、家族同意の上 で行い、買い物に行って好きな ものを選びレジでお金を払うとい う行動ができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目(牛田新町②)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	月1回のホーム便りで入居様全員にご家族に手紙を書いて頂けるようにしている。また、知人等からお届け物があったり、面会があった場合は、お礼に手紙を書き馴染みの方と関係を大切に保つ支援を行っている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングには入居者様と一緒に作った作品の展示や季節感のある飾りつけをしている。浴室、トイレなどの共同空間では不快にならないような温度調節や、混乱を招くような刺激物を避ける等の工夫を行い気持ち良く生活出来るように心がけている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	食事はリビングで気の合った入居者同士で出来るよう、座席の組み合わせには配慮している。リビング中央にはテレビ・ソファがあり、もう一箇所にもソファとちゃぶ台を置き、思い思いに過ごせる環境になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自宅で使い慣れた家具を置いたり、馴染みのある写真等を飾って一人1人の入居者らしい居室を作り、居心地良く過ごせるよう工夫しているがまだまだである。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室には各個人の名前が表示され、トイレもわかりやすく目に見て判断出来るようにしている。入居者1人1人の、出来ること、出来ないことを観察し、掃除、洗濯、食事作り等行っていただき、自立した生活が送れるよう工夫している。		

V アウトカム項目(牛田新町②) ← 左記()内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひなたぼっこ・牛田新町

作成日 令和1年11月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	2ヶ月に1度開催している運営推進会議において家族様の出席がなく、参加者が固定化している (牛田新町①)	1年に1回以上、家族様に出席していただく	個人的にお願いできる方へはお願いし日程調整を行う また家族会などを利用し家族様が参加しやすい開催方法を検討する	1年
2	4	運営推進会議において家族の出席がない状態が続いている (牛田新町②)	少しでも家族の方に出席していただく	家族様の参加しやすい日程等をお聞きし日程調整を行う。また、ホームでの行事に合わせて家族様の意見等聞ける場を設ける	1年
3	35	夜間を想定した避難訓練をまだ全職員が把握できていない (牛田新町②)	全員の職員が夜間想定 の避難訓練を把握する 事ができる	夜間想定 の訓練の回数を増やし全職員が訓練に参加できるようにする	1年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。